品質管理委員会 第3回「定例委員会」議事録

1. 日 時 2024年12月5日(木) 13時45分～17時45分
2. 場 所 タワー111ビル 3階 スカイホール
3. 出席者 谷川委員長はじめ委員・担当者合わせて33名 (事務局)北野、安田
4. 内 容

第 部 : 定例委員会 (13:45～14:05)**委員長挨拶**

今年最後の定例委員会となりますが、非常にもりたくさんのイベントを予定しております。本日は今年度の事業報告の後、次年度の事業計画について審議いただきたい。

報告事項**○ 2024年度年間事業報告 (資料1、1-1、1-2 事務局説明)**

- ・幹事会は4/8、11/14の2回計画し開催した。
- ・定例委員会は4回計画し、7/24は立山科学グループの見学と併せて開催。9/20は事例発表会(三光合成様、武内プレス工業様)・GDと併せて開催。本日(12/5)は講演会・GDと併せて開催。今後の予定として2/20は勉強会と合わせて開催予定。
- ・会報編集部会は、6/27、8/30、10/30と3回開催し、企画・編集内容・紙面構成について審議した。今後の予定としては、12/11に開催し、最終的な紙面構成などを進めて行き、3月に発刊する。
- ・県外企業見学研修会は、10/17-18にかけて、福井県の(株)アイシン福井、日華化学(株)を見学した。(14名の参加)
- ・講座・セミナーの担当委員制を今年度も希望を募り、改善点などの意見をいただいている。
- ・日科技連主催の「品質管理シンポジウム」は、6月は三光合成様が参加、12月は応募がなかった。

【講座・セミナー】

- ・「品質管理入門講座 基礎編」から「ISO9001 内部監査員養成講座」の15講座と富山県からの受託事業「現場の技術・技能伝承支援研修」を計画し、開催した14講座(運営中も入れ)のうち募集定員に満たない講座もあるが、基本的には募集定員を超える講座が多くあった。
- ・7/23「なぜなぜ分析力活用セミナー<基本コース>」は一週間ほどで募集定員満員となり、追加で7/30に開催した。
- ・今後の予定としては、「品質管理入門講座 実践編」、「ISO9001 内部監査員養成講座」については、計画通り開催する予定としている。

審議事項**○2025年度年間事業計画(案) (資料2、2-1 事務局説明)**

2024年度の活動を継続した形で事務局(案)を作成。

【委員会活動】

- ・幹事会は4月と11月の2回で計画。
- ・定例委員会は7月を見学会、9月、12月を講演会・GD、2月を勉強会として計4回を計画。具体的な内容や進め方は、幹事による部会を新設し事業について検討・企画いただく形としたい。
- ・県外企業見学研修会1泊2日で10月の開催を計画。見学先については、部会で検討・企画する。
- ・「会報編集部会」は3月の発行に向けて5回を計画

【講座・セミナー】

- ・4月「品質管理入門講座 基礎編」から3月「ISO9001 内部監査員養成講座」までの現行15講座は、担当委員からいただいた改善点を加えながら継続して開催を計画。

- ・「部課長実践講座」は2泊3日(木、金、土)で開催していたが、時代の変化に合わせて運営方法の見直しを行っており、1泊3日間(平日開催)として開催を計画。
- ・「なぜなぜ分析力活用セミナー<基本コース>」については、連続で2回開催とする。
- ・「現場の技術・技能伝承支援研修」は、県の受託年が終了し来年度はプロポーザル形式になるので、(仮)として予定している。

<決定事項>

[委員会活動]

- ・幹事会、定例委員会、県外企業見学研修会、会報編集部会は、事務局案どおり計画する。
- ・定例委員会については7月、9月、12月、2月で計画するが、併催事業について、来年度からは新たに幹事による部会組織をつくり、その部会で検討・企画する。

新たに設置するのは、

企業見学企画部会(7月、10月の見学先・日程検討)

講演・GD企画部会(9月、12月の定例委員会後のイベント検討)

勉強会企画部会(2月勉強会のイベント検討)

会報編集部会は既に部会組織あり、7名で構成。

[講座・セミナー]

- ・現行の15講座の開催日程については、事務局案で開催する。

第 部 : 講 演 会 (14:15~16:00)

テーマ 「脱皮しない品証は滅びる」

講 師 公立諏訪東京理科大学

特任教授 奥原 正夫 氏

第 部 : グループディスカッション (16:15~17:45)

委員・担当者が5班に分かれ、グループごとに活発なディスカッションを行った。

以 上